



Deploy ユーティリティ

ONTAP Select

NetApp
February 03, 2026

目次

Deploy ユーティリティ	1
Deploy インスタンスをアップグレードする	1
作業を開始する前に	1
アップグレードパッケージをダウンロードする	1
パッケージを Deploy 仮想マシンにアップロードします	1
アップグレードパッケージを適用する	2
新しい仮想マシンへのDeployインスタンスの移行	2
Deployの設定データをバックアップする	3
Deploy仮想マシンの新しいインスタンスをインストールする	3
新しい仮想マシンへのDeployの設定データのリストア	4
導入するONTAP Selectイメージの追加	4
作業を開始する前に	5
インストールイメージをダウンロードする	5
インストールイメージをDeployにアップロードする	5
インストールイメージを追加する	6
利用可能なインストールイメージを表示する	6
DeployからのONTAP Selectイメージの削除	7
2ノードクラスタのDeployユーティリティをリカバリする	8
作業を開始する前に	8
設定のバックアップを使用したDeployユーティリティのインスタンスのリストア	9
Deployユーティリティのインスタンスを再設定してリカバリする	10

Deploy ユーティリティ

Deploy インスタンスをアップグレードする

コマンドラインインターフェイスを使用して、既存の Deploy ユーティリティの仮想マシンをインプレースアップグレードできます。

作業を開始する前に

アップグレード中に、Deploy を使用して他のタスクを実行しないようにしてください。Deploy ユーティリティのアップグレードに関する情報と制限については、最新のリリースノートを参照してください。



ONTAP Select Deploy 管理ユーティリティの古いインスタンスがインストールされている場合は、現在のリリースにアップグレードする必要があります。ONTAP Select ノードとONTAP Select Deploy コンポーネントは個別にアップグレードされます。を参照してください "ONTAP Select ノードをアップグレードする" を参照してください。

アップグレードパッケージをダウンロードする

アップグレードプロセスを開始するには、NetAppサポートサイトから適切な Deploy 仮想マシン アップグレード ファイルをダウンロードする必要があります。アップグレードパッケージは、単一の圧縮ファイルとしてフォーマットされます。

手順

1. Web ブラウザを使用して "[NetAppサポートサイト](#)" にアクセスし、Downloads メニューから **Downloads** を選択します。
2. 下にスクロールして *ONTAP Select Deploy Upgrade* を選択してください。
3. アップグレードパッケージの目的のリリースを選択します。
4. エンドユーザライセンス契約 (EULA) を確認し、*同意して続行* を選択します。
5. 適切なパッケージを選択してダウンロードし、環境に応じて必要なすべてのプロンプトに応答します。

パッケージを Deploy 仮想マシンにアップロードします

アップグレードパッケージを取得したら、そのファイルを Deploy 仮想マシンにアップロードする必要があります。

作業を開始する前に

ローカルワークステーションにアップグレード ファイルを用意しておく必要があります。管理者ユーザー アカウントのパスワードも必要です。

このタスクについて

このタスクは、ファイルを Deploy 仮想マシンにアップロードする方法の 1 つです。ご使用の環境に適したその他のオプションがある場合もあります。

手順

1. ローカル ワークステーションのコマンド シェルで、`scp` ユーティリティを使用して、イメージ ファイルを Deploy 仮想マシンにアップロードします。

例

```
scp ONTAPdeploy2.12_upgrade.tar.gz admin@10.228.162.221:/home/admin  
(provide password when prompted)
```

結果

アップグレードファイルは、`admin` ユーザのホームディレクトリに格納されます。

アップグレードパッケージを適用する

アップグレードファイルが Deploy 仮想マシンにアップロードされたら、アップグレードを適用できます。

作業を開始する前に

Deploy ユーティリティ仮想マシンのどのディレクトリにアップグレード ファイルが配置されているかを知つておく必要があります。また、アップグレードの実行中は、Deploy を使用して他のタスクを実行しないようしてください。

手順

1. 管理者アカウントで SSH を使用して、Deploy ユーティリティの CLI にサインインします。
2. 適切なディレクトリパスとファイル名を使用してアップグレードを実行します。

```
deploy upgrade -package-path FILEPATH
```

例

```
deploy upgrade -package-path /home/admin/ONTAPdeploy2.12_upgrade.tar.gz
```

完了後

アップグレード手順が完了する前に、Deploy 仮想マシン構成のバックアップを作成するように求められます。また、新しく作成された Deploy ページを表示できるように、ブラウザのキャッシュをクリアする必要があります。

新しい仮想マシンへの Deploy インスタンスの移行

コマンドラインインターフェイスを使用して、Deploy 管理ユーティリティの既存のインスタンスを新しい仮想マシンに移行できます。

この手順は、元の仮想マシンの設定データを使用する新しい仮想マシンの作成に基づいています。新しい仮想マシンと元の仮想マシンで実行する Deploy ユーティリティのバージョンとリリースが同じである必要があります。バージョンとリリースが異なる Deploy ユーティリティに移行することはできません。

Deployの設定データをバックアップする

仮想マシンの移行の一環として、Deploy の設定データのバックアップを作成する必要があります。また、ONTAP Select クラスタを導入したあとにバックアップを作成する必要があります。データは単一の暗号化ファイルに保存され、ローカルワークステーションにダウンロードできます。

作業を開始する前に

- Deploy はバックアップ処理中に他のタスクを実行しないでください。
- 元のDeploy仮想マシンイメージを保存します。



Deployの設定データを元の仮想マシンから新しい仮想マシンにリストアする場合は、この手順の後半の工程で元のDeploy仮想マシンイメージが必要です。

このタスクについて

作成するバックアップファイルには、仮想マシンのすべての設定データがキャプチャされます。このデータには、ONTAP Select クラスタを含む導入環境の要素が説明されています。

手順

1. 管理者アカウントで SSH を使用して、Deploy ユーティリティの CLI にサインインします。
2. Deploy サーバの内部ディレクトリに格納されている Deploy の設定データのバックアップを作成します。

```
deploy backup create
```

3. プロンプトが表示されたら、バックアップのパスワードを入力します。

バックアップファイルは、パスワードに基づいて暗号化されます。

4. システムで使用可能なバックアップを表示します。

```
deploy backup show -detailed
```

5. [作成日] フィールドの日付に基づいてバックアップファイルを選択し、* ダウンロード URL * の値を記録します。

バックアップファイルには、URL からアクセスできます。

6. Curl などの Web ブラウザまたはユーティリティを使用して、URL を指定してバックアップファイルをローカルワークステーションにダウンロードします。

Deploy仮想マシンの新しいインスタンスをインストールする

Deploy 仮想マシンの新しいインスタンスを作成する必要があります。このインスタンスは、元の仮想マシンの設定データを使用して更新できます。

作業を開始する前に

VMware 環境で ONTAP Select Deploy 仮想マシンのダウンロードと導入に使用する手順を理解しておく必要があります。

このタスクについて

このタスクについては大まかに説明します。

手順

1. Deploy 仮想マシンの新しいインスタンスを作成します。
 - a. 仮想マシンイメージをダウンロードします。
 - b. 仮想マシンを導入し、ネットワークインターフェイスを設定します。
 - c. SSH を使用して Deploy ユーティリティにアクセスします。

関連情報

["ONTAP Select Deploy をインストールする"](#)

新しい仮想マシンへのDeployの設定データのリストア

元の Deploy ユーティリティの仮想マシンの設定データを新しい仮想マシンにリストアする必要があります。データは、ローカルワークステーションからアップロードする必要のある 1 つのファイルに格納されます。

作業を開始する前に

以前のバックアップの設定データが必要です。データは 1 つのファイルに格納され、ローカルワークステーションで使用できる必要があります。

手順

1. ローカルワークステーション上のコマンドシェルで、 sftp ユーティリティを使用して、バックアップファイルを Deploy 仮想マシンにアップロードします。

例

```
sftp admin@10.234.81.101 (provide password when prompted)
put deploy_backup_20190601162151.tar.gz
exit
```

2. 管理者アカウントで SSH を使用して、 Deploy ユーティリティの CLI にサインインします。
3. 構成データをリストアします。

```
deploy backup restore -path PATHNAME -filename FILENAME
```

例

```
deploy backup restore -path /home/admin -filename
deploy_backup_20180601162151.tar.gz
```

導入するONTAP Selectイメージの追加

ONTAP Select イメージを Deploy 管理ユーティリティのインスタンスに追加できます。イメージをインストールしたら、 ONTAP Select クラスタの導入時に使用できます。

作業を開始する前に

大まかに言うと、ONTAP Select イメージを Deploy のインスタンスに追加するプロセスは、次の 4 つのステップで構成されます：

1. インストールイメージのダウンロード
2. インストールイメージを Deploy 仮想マシンにアップロードする
3. インストールイメージの追加
4. 利用可能なインストールイメージを表示する

新しい ONTAP Select イメージを Deploy に追加する前に、不要なイメージを削除する必要があります。



ONTAP Select イメージは、Deploy ユーティリティのインスタンスに含まれている元のバージョンよりも前のバージョンでのみ追加してください。ネットアップから提供される新しいバージョンの ONTAP Select は、サポートされていない構成では追加できません。

インストールイメージをダウンロードする

ONTAP Select イメージを Deploy ユーティリティのインスタンスに追加するプロセスを開始するには、NetApp Support Site からインストールイメージをダウンロードする必要があります。ONTAP Select インストールイメージは、単一の圧縮ファイルとしてフォーマットされています。

手順

1. Web ブラウザーを使用して NetApp Support Site にアクセスし、*Support Quick Links* をクリックします。
2. * トップタスク * の下にある * ソフトウェアのダウンロード * をクリックし、サイトにサインインします。
3. 製品を探す をクリックします。
4. 下にスクロールして *ONTAP Select* をクリックします。
5. **Other Available Select Software** で、**Deploy Upgrade, Node Upgrade, Image Install** をクリックします。
6. アップグレード パッケージの目的のリリースを選択します。
7. エンドユーザー ライセンス契約 (EULA) を確認し、*Accept & Continue* をクリックします。
8. 適切なパッケージを選択してダウンロードし、環境に応じて必要なすべてのプロンプトに応答します。

インストールイメージを Deploy にアップロードする

ONTAP Select インストールイメージを取得したら、ファイルを Deploy 仮想マシンにアップロードする必要があります。

作業を開始する前に

ローカル ワークステーションにインストール イメージ ファイルを用意しておく必要があります。Deploy 管理者ユーザー アカウントのパスワードも必要です。

このタスクについて

このタスクは、ファイルを Deploy 仮想マシンにアップロードする方法の 1 つです。ご使用の環境に適したそ

の他のオプションがある場合もあります。

ステップ

1. ローカル ワークステーションのコマンド シェルで、イメージ ファイルを Deploy 仮想マシンにアップロードします。

例

```
scp image_v_93_install_esx.tgz admin@10.234.81.101:/home/admin (provide password when prompted)
```

例

```
sftp admin@10.234.81.101 (provide password when prompted)
put image_v_93_install_esx.tgz
exit
```

結果

ノードインストールファイルは、管理者ユーザのホームディレクトリに格納されます。

インストールイメージを追加する

新しいクラスタの導入時に使用できるように、ONTAP Select インストールイメージを Deploy images ディレクトリに追加できます。

作業を開始する前に

Deploy ユーティリティの仮想マシンでインストールイメージファイルを配置したディレクトリを確認しておく必要があります。このファイルは、管理者のホームディレクトリにあると想定されます。

手順

1. 管理者（admin）アカウントで SSH を使用して、Deploy ユーティリティの CLI にサインインします。
2. Bash シェルを起動します。

```
shell bash
```

3. インストールイメージ ファイルを images ディレクトリに配置します。

例

```
tar -xf image_v_93_install_esx.tgz -C /opt/netapp/images/
```

利用可能なインストールイメージを表示する

新しいクラスターをデプロイするときに使用できる ONTAP Select イメージを表示できます。

手順

1. Deploy ユーティリティの仮想マシンのオンラインドキュメントの Web ページにアクセスし、管理者（ admin ）アカウントを使用してサインインします。

```
http://<FQDN|IP_ADDRESS>/api/ui
```

Deploy 仮想マシンのドメイン名または IP アドレスを使用してください。

2. ページの下部に移動して *Deploy* をクリックし、 *GET /images* をクリックします。
3. *試してみる！* をクリックすると、利用可能なONTAP Selectイメージが表示されます。
4. 目的のイメージが使用可能であることを確認します。

DeployからのONTAP Selectイメージの削除

不要になった ONTAP Select イメージは、 Deploy 管理ユーティリティのインスタンスから削除できます。



クラスタで使用中の ONTAP Select イメージを削除しないでください。

このタスクについて

クラスタで現在使用されていない、または将来のクラスタ導入で使用する予定の古い ONTAP Select イメージを削除できます。

手順

1. 管理者（ admin ）アカウントで SSH を使用して、 Deploy ユーティリティの CLI にサインインします。
2. Deploy で管理されるクラスタを表示して、使用中の ONTAP イメージを記録します。

```
cluster show
```

各ケースのバージョン番号とハイパーバイザープラットフォームをメモします。

3. Bash シェルを起動します。

```
shell bash
```

4. 使用可能なすべての ONTAP Select イメージを表示します。

```
ls -lh /opt/netapp/images
```

5. 必要に応じて、ハイパーバイザーホストからONTAP Selectイメージを削除します。

ESXiノレイ

```
rm -r /opt/netapp/images/DataONTAPv-9.3RC1-vidconsole-esx.ova
```

KVMの例

```
rm -r /opt/netapp/images/DataONTAPv-9.3RC1-serialconsole-kvm.raw.tar
```

2ノードクラスタのDeployユーティリティをリカバリする

ONTAP Select Deploy ユーティリティに障害が発生した場合や、何らかの理由でユーティリティが使用できない場合は、ONTAP Select のノードとクラスタを管理できなくなります。また、Deploy に含まれるメディエーターサービスを使用できないため、すべての 2 ノードクラスタの HA 機能が失われます。リカバリ不能な障害が発生した場合は、Deploy ユーティリティのインスタンスをリカバリして、管理と HA の機能をリストアする必要があります。

作業を開始する前に

Deploy ユーティリティのインスタンスを確実にリカバリするには、そのための準備をしておく必要があります。

必要なスキルと情報

いくつかの管理手順に関する詳しい知識と情報が必要です。

Deploy 仮想マシンをインストールします

ハイパーバイザ環境に ONTAP Select Deploy ユーティリティの新しいインスタンスをインストールできる必要があります。

ONTAP コマンドラインインターフェイス

ONTAP Select クラスタの ONTAP CLI にサインインして、シェルインターフェイスを使用する必要があります。

Deploy ユーティリティ設定のバックアップの有無

ONTAP Select の 2 ノードクラスタを含む、障害が発生した Deploy ユーティリティのインスタンスの設定データがバックアップされているかどうかを確認する必要があります。作成したバックアップにはクラスタが含まれていない場合があります。

Deploy 設定のバックアップのリストア

使用するリカバリ用手順に応じて、Deploy の設定データのバックアップをリストアする必要があります。

元の Deploy 仮想マシンの IP アドレス

障害が発生した元の Deploy ユーティリティの仮想マシンの IP アドレスを把握しておく必要があります。

ストレージ容量単位のライセンス

容量プールまたは容量階層のライセンスが使用されているかどうかを確認する必要があります。容量プールライセンスを使用する場合は、Deploy インスタンスをリカバリまたはリストアしたあとに、各容量プールライセンスを再インストールする必要があります。

使用するリカバリ手順 の決定

ONTAP Select Deploy ユーティリティのインスタンスをリカバリする際に使用する手順 を決定しておく必要があります。ONTAP Select 2 ノードクラスタを含む、障害が発生した元の Deploy ユーティリティの設定データをバックアップするかどうかを決定します。

2 ノードクラスタを含む Deploy のバックアップがあるか	使用するリカバリ手順
はい。	設定のバックアップを使用したDeployユーティリティのインスタンスのリストア
いいえ	Deployユーティリティのインスタンスを再設定してリカバリする

設定のバックアップを使用したDeployユーティリティのインスタンスのリストア

2 ノードクラスタを含む、障害が発生した Deploy ユーティリティのインスタンスのバックアップがある場合は、新しい Deploy 仮想マシンのインスタンスに設定データをリストアできます。次に、ONTAP Select クラスタ内の 2 つのノードの追加設定を実行して、リカバリを完了する必要があります。

作業を開始する前に

2 ノードクラスタを含む、障害が発生した元の Deploy 仮想マシンの設定データのバックアップが必要です。2 ノードクラスタの ONTAP CLI にサインインし、2 つのノードの ONTAP 名を確認しておく必要があります。

このタスクについて

リストアする設定のバックアップには 2 ノードクラスタが含まれているため、メディエーターの iSCSI ターゲットとメールボックスは、新しい Deploy ユーティリティの仮想マシンに再作成されます。

手順

1. ONTAP Select Deploy ユーティリティの新しいインスタンスを準備します。

- 新しい Deploy ユーティリティの仮想マシンをインストールします。
- Deploy の設定を以前のバックアップから新しい仮想マシンにリストアします。

インストールとリストアの手順の詳細については、関連するタスクを参照してください。

2. ONTAP Select の 2 ノードクラスタの ONTAP コマンドラインインターフェイスにサインインします。

3. advanced 権限モードに切り替えます。

```
set adv
```

4. 新しい Deploy 仮想マシンの IP アドレスが元の Deploy 仮想マシンと異なる場合は、古いメディエーターの iSCSI ターゲットを削除し、新しいターゲットを追加する必要があります。

```
storage iscsi-initiator remove-target -node * -target-type mailbox

storage iscsi-initiator add-target -node <node1_name> -label mediator
-tgt-type mailbox -tgt-portal <ip_address> -tgt-name <target>

storage iscsi-initiator add-target -node <node2_name> -label mediator
-tgt-type mailbox -tgt-portal <ip_address> -tgt-name <target>
```

。<ip_address> パラメータは、新しいDeploy仮想マシンのIPアドレスです。

これらのコマンドを使用すると、新しい Deploy ユーティリティの仮想マシン上のメールボックスディスクを ONTAP Select ノードで検出できます。

5. メディエーターディスクの名前を特定します。

```
disk show -container-type mediator
```

6. メールボックスディスクを 2 つのノードに割り当てます。

```
disk assign -disk <mediator-disk1-name> -owner <node1-name>
disk assign -disk <mediator-disk2-name> -owner <node2-name>
```

7. ストレージフェイルオーバーが有効になっていることを確認します。

```
storage failover show
```

完了後

容量プールライセンスを使用する場合は、各容量プールライセンスを再インストールする必要があります。 詳細については、「容量プールライセンスの再インストール」を参照してください。

Deployユーティリティのインスタンスを再設定してリカバリする

2 ノードクラスタを含む、障害が発生した Deploy ユーティリティのインスタンスのバックアップがない場合は、新しい Deploy 仮想マシンにメディエーターの iSCSI ターゲットとメールボックスを設定する必要があります。 次に、ONTAP Select クラスタ内の 2 つのノードの追加設定を実行して、リカバリを完了する必要があります。

作業を開始する前に

新しい Deploy ユーティリティのインスタンスのメディエーターティゲットの名前が必要です。2 ノードクラスタの ONTAP CLI にサインインし、2 つのノードの ONTAP 名を確認しておく必要があります。

このタスクについて

必要に応じて、設定のバックアップを新しい Deploy 仮想マシンにリストアできます。2 ノードクラスタがバックアップに含まれていなくてもリストアは可能です。リストアで 2 ノードクラスタが再作成されることはないとため、Deploy の ONTAP Select オンラインドキュメントの Web ページを使用して、メディエーターの iSCSI ターゲットとメールボックスを新しい Deploy ユーティリティのインスタンスに手動で追加する必要があります。2 ノードクラスタにサインインし、2 つのノードの ONTAP 名を確認しておく必要があります。



リカバリ手順 の目的は、2 ノードクラスタを正常な状態にリストアして、通常の HA テイクオーバー処理とギブバック処理を実行できるようにすることです。

手順

1. ONTAP Select Deploy ユーティリティの新しいインスタンスを準備します。
 - a. 新しい Deploy ユーティリティの仮想マシンをインストールします。
 - b. 必要に応じて、Deploy の設定を以前のバックアップから新しい仮想マシンにリストアします。

以前のバックアップをリストアする場合、新しい Deploy インスタンスには2ノードクラスタが含まれません。インストールとリストアの手順の詳細については、関連情報のセクションを参照してください。

2. ONTAP Select の2ノードクラスタのONTAPコマンドラインインターフェイスにサインインします。
3. advanced 権限モードに切り替えます。

```
set adv
```

4. メディエーターのiSCSIターゲット名を取得します。

```
storage iscsi-initiator show -target-type mailbox
```

5. 新しい Deploy ユーティリティの仮想マシンのオンラインドキュメント Web ページにアクセスし、admin アカウントを使用してサインインします。

```
http://<ip_address>/api/ui
```

Deploy 仮想マシンの IP アドレスを使用する必要があります。

6. [* mediator*]、[* Get/mediators] の順にクリックします。
7. [* 試してみてください!*] をクリックすると、Deploy によって管理されているメディエーターのリストが表示されます。

目的のメディエーターインスタンスの ID をメモします。

8. [* Mediator*]、[* POST] の順にクリックします。
9. mediator_id の値を指定します

10. 横にある* Model *をクリックします。 iscsi_target 名前の値を入力します。

iqn 名前パラメータのターゲット名を使用します。

11. [* 試してみてください!*] をクリックして、メディエーターのiSCSIターゲットを作成します。

要求が成功すると、HTTPステータスコード 200 が表示されます。

12. 新しい Deploy 仮想マシンのIPアドレスが元の Deploy 仮想マシンと異なる場合は、ONTAPのCLIを使用して、古いメディエーターのiSCSIターゲットを削除し、新しいターゲットを追加する必要があります。

```
storage iscsi-initiator remove-target -node * -target-type mailbox

storage iscsi-initiator add-target -node <node1_name> -label mediator
-tgt-type mailbox -tgt-portal <ip_address> -tgt-name <target>

storage iscsi-initiator add-target -node <node2_name> -label mediator-
tgt-type mailbox -tgt-portal <ip_address> -tgt-name <target>
```

。<ip_address> パラメータは、新しいDeploy仮想マシンのIPアドレスです。

これらのコマンドを使用すると、新しい Deploy ユーティリティの仮想マシン上のメールボックスディスクを ONTAP Select ノードで検出できます。

1. メディエーターディスクの名前を特定します。

```
disk show -container-type mediator
```

2. メールボックスディスクを 2 つのノードに割り当てます。

```
disk assign -disk <mediator-disk1-name> -owner <node1-name>

disk assign -disk <mediator-disk2-name> -owner <node2-name>
```

3. ストレージフェイルオーバーが有効になっていることを確認します。

```
storage failover show
```

完了後

容量プールライセンスを使用する場合は、各容量プールライセンスを再インストールする必要があります。詳細については、「容量プールライセンスの再インストール」を参照してください。

関連情報

- ・ "ONTAP Select Deploy をインストールする"
- ・ "新しい仮想マシンへのDeployの設定データのリストア"
- ・ "容量プールライセンスの再インストール"

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を隨時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5225.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。